



## ■仕 様

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| ■一般仕様  |                             |
| 赤外線波長  | 850m                        |
| 搬送波周波数 | 左チャンネル 2.3MHz 右チャンネル 2.8MHz |
| 到達距離   | 約10m (正面方向)                 |
| 周波数特性  | 20～20,000 Hz                |
| 歪み率    | 2.0%以下 (1kHz)               |

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| ■送信機   |                             |
| 電 源    | DC 12V/200mA (付属のACアダプター使用) |
| 最大外形寸法 | 120 (W) ×25 (H) ×90 (D) mm  |
| 質 量    | 約80g (アダプター含まず)             |
| 音声入力端子 | 3.5φステレオミニプラグ               |
| コード長   | 約1m                         |

|              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| ■ヘッドホン (受光部) |                                    |
| 型 式          | 密閉型ダイナミックステレオヘッドホン                 |
| 電 源          | DC3V (単四形乾電池×2本使用)                 |
| 電池持続時間       | 約48時間 (アルカリ乾電池使用時) ※使用条件によって異なります。 |
| 質 量          | 約166g (乾電池を含まず)                    |

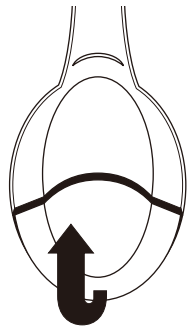
|                                                                                                                                                                                            |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| ■付属品                                                                                                                                                                                       |  |
| ACアダプター (DC 12V/200mA)   |  |

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

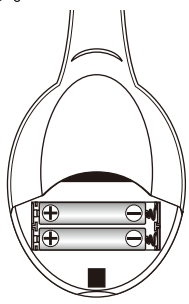
## ■ 乾電池を入れる

ヘッドホンの電源には単四形乾電池を2本使用します。

①ヘッドホン左側(L)にある電池カバーを矢印の方向に外します。



②単四形乾電池(2本)を  と  の向きに注意して本体の表示通りに正しく入れます。

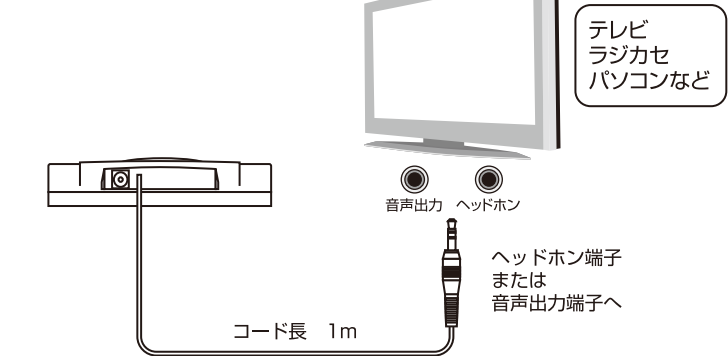


### ●乾電池交換時期のめやす

- ・動作範囲が狭くなった時
- ・音がひずんだり、雑音が多くなった時
- ・電源インジケーターが暗くなった時

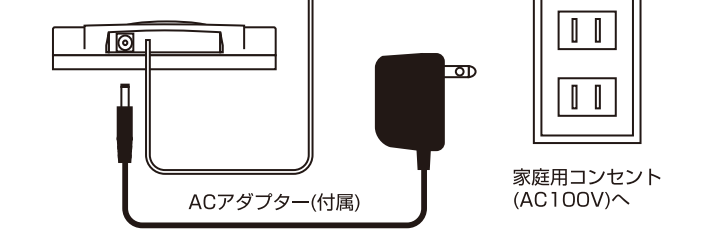
## ■ 接続する

①AV機器に送信機を接続する



※ヘッドホン出力端子に接続した場合は、AV機器本体のスピーカーからの音声出力はなくなります。  
※イヤホン出力端子 (モノラル) に接続した場合は片側 (L側) しか音がでません。  
※詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご確認ください。

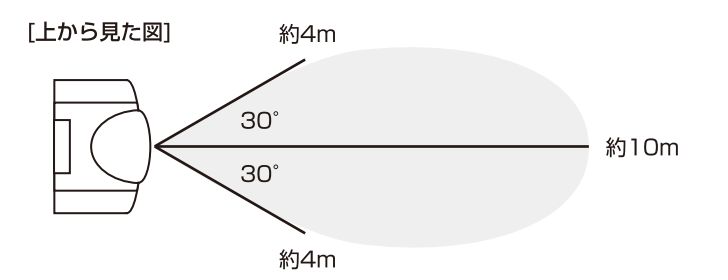
②電源を接続する



**長時間使用しないときは**  
節電のため、ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。接続したままの状態では待機電流を消費します。

## ■ 設置する

本機は赤外線を利用しています。赤外線が届く範囲はおおよそ下図の通りです。図に示された範囲内で使用してください。



壁やガラスは赤外線を通しません。送信機とヘッドホンは直接見通せる位置でお使いください。

■送信機の電源について  
音声信号が入力されると自動的に電源が入り、数分間音声信号がない状態が続きますと自動的に電源が切れます。音量が小さい場合も同様に電源が切れますので、音がひずまない範囲で接続した機器の主音量を大きくしてください。  
再度音声信号の入力があると自動的に電源が入ります。

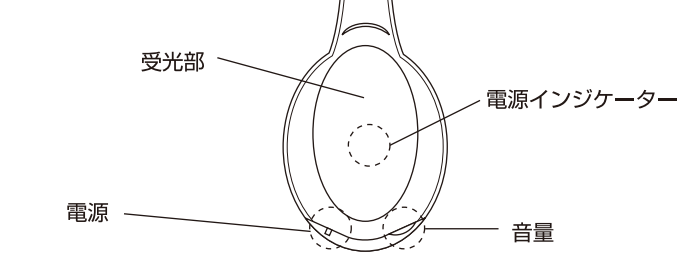
■ヘッドホンのオートミュート・オートオフについて  
音声信号の入力がない場合や受信範囲外に移動した場合、自動的に消音に切り替わります。(オートミュート機能)  
さらに数分間、音声信号の入力がない状態が続きますと自動的に電源が切れます。(オートオフ機能)  
再度ご使用の場合は、電源スイッチを入れなおしてください。

※オートミュート時に再度音声信号の入力があると自動的にオートミュートが解除されます。

## ■使用する

- ①送信機に接続したAV機器の電源を入れます。  
送信機をヘッドホン端子に接続した場合は、接続している機器の主音量を、音がひずまない範囲でできるだけ大きくしてください。
- ②送信機の電源が自動でONになります。  
接続している機器の音量が小さい場合には、電源が入らない場合があります。この場合は接続している機器の主音量をできるだけ大きくしてください。
- ③ヘッドホンの音量を絞ってから電源を入れます。  
電源インジケーターが点灯します。

【ヘッドホン右(R)側】

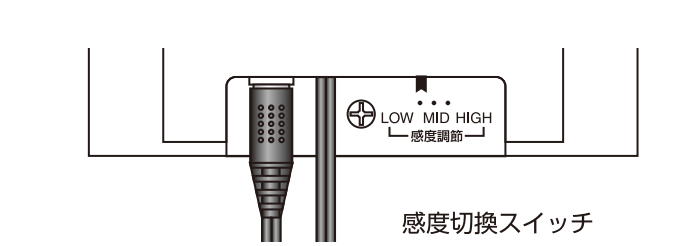


④ヘッドホンを装着して、音量を調節します。  
※受光部を手などで覆うと、音が聞こえませんのでご注意ください。

●使用後はヘッドホン、接続したAV機器の電源を切ってください。  
本機は赤外線を使用しているため、ご使用になる場所が送信機から離れるにしたがって雑音が増えたり、また赤外線がさえざれた場合には音が途切れたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性により生じるもので、故障ではありません。

## ■ 送信機の感度調節

本機の送信機にはオートパワーON/OFF機能を搭載しています。音声信号の入力があると自動的に電源が入り、数分間音声信号の入力がない状態が続きますと自動的に電源が切れます。また、映画の静かなシーンなど、音量が小さい場合も同様に電源が切れます。この場合は送信機背面の感度切換スイッチを調整してください。



|         |                                                                            |
|---------|----------------------------------------------------------------------------|
| LOW(低)  | 入力信号の感度が「低」の状態になります。接続している機器の音量が大きく、無音状態が少ない場合にご使用ください。                    |
| MID(中)  | 入力信号の感度が「中」の状態になります。通常時はこちらをご使用ください。                                       |
| HIGH(高) | 入力信号の感度が「高」の状態になります。接続している機器の音量が小さく、無音状態が多い場合に使用ください。但し感度が高くなるため雑音が多くなります。 |

■特 長

- 外来ノイズの影響を受けにくい赤外線方式を採用
- コードがないので自由に動きながら音楽を楽しめます
- 到達距離は正面方向で約10mを実現
- 長時間使用でも疲れにくい軽量でソフトな装着感
- 手元で音量を調節できるボリューム付
- オートパワーセーブ、オートON/OFFの省エネ設計
- 耳障りなノイズを抑えるオートミュート機能搭載

■使用上のお願い

- 故障の原因となりますので、以下のことは避けてください。
  - ・強い衝撃や落下
  - ・風呂場など湿気の多いところ、倉庫などほこりの多いところでの使用
  - ・雨や水に濡らす
- 他の赤外線を使用したワイヤレス機器の送信機と同時に使用しないでください。  
赤外線方式ワイヤレスヘッドホンなどの送信機と同時に動作させると干渉をおこし、正常に動作しなくなります。
- 直射日光下に設置しないでください。  
本機は赤外線を利用していますので、直射日光下では正常に動作しなくなります。
- ヘッドホンは「■設置する」の項目内の図で示された範囲内でお使いください。
- プラズマ方式のテレビ/ディスプレイに接続した場合は正常に動作しない場合があります。プラズマ方式のテレビ/ディスプレイからのノイズの影響を受けるため、雑音がしたり、音が途切れたりする場合があります。また、到達距離が短くなる場合もあります。

■お手入れについて

柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布で拭き、その後は乾拭きしてください。

- ・アルコールやシンナーは使わないで下さい。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■安全上のご注意

必ずお守りください

電気製品は正しく取り扱うことで安全にご使用いただけます。  
誤った使い方はお使いになる人や他の人への危害、財産への損害につながる可能性があります。このような事故を未然に防止する為、本書をよくお読みになり注意事項を必ずお守りください。

■注意事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度によって二段階に表示しています。

|  |                                                          |
|--|----------------------------------------------------------|
|  | この表示の注意事項を守らなかった場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」ことを示します。         |
|  | この表示の注意事項を守らなかった場合、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性がある」ことを示します。 |

本 機

⚠ 警告

分解、改造しない

機器が故障し、感電やけがなどの原因になるほか、金属物が入るとやけどや火災の原因となります。

⚠ 警告

音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇により発火やけが、感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多い場所で保管、使用しない。
- ・ぐらつく台の上や傾斜した台、毛足の長い絨毯や布団などの不安定なところに設置しない。
- ・夏季の車中や暖房器具のそば、直射日光が当たる場所などの高温になる場所で保管、使用しない。

ACアダプター

⚠ 警告

コード・プラグが破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具を近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

プラグのほこりなどは定期的に取りる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。  
長期間使用しない場合は、ACアダプターを抜いてください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

感電の原因となります。

ACアダプター

⚠ 警告

プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損した時は使用を中止する

そのまま使用すると火災の原因となります。

雷がなったら、ACアダプターや送信機に触れない

誘導雷により感電の恐れがあります。

⚠ 注意

ACアダプターを使用する時は、専用品を使う

指定外のアダプターを使用すると、故障や火災の原因となることがあります。

乾電池

⚠ 注意

- 火中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定以外の乾電池は使わない。
- ⊕⊖の方向を正しく入れる。
- 長時間使わない場合は、本体より乾電池を取り出す。
- 異種の乾電池、新旧の乾電池を混ぜて使わない。

■故障かな・・・と思ったら

まずは、下記内容をご確認のうえ、直らない場合はお買い上げの販売店へご相談ください。販売店にお持ちになる時は、必ずヘッドホンと送信機を一緒にお持ちください。

●音が出ない

本機及び接続した機器の電源が入っていますか？  
→電源を入れてください。

送信機とAV機器が正しく接続されていますか？  
→「■接続する」の項目の説明をお読みのうえ、正しく接続しなおしてください。

音量が小さくなっていませんか？  
→接続した機器および本機の音量を調節してください。

●音がひずむ

音声信号の入力レベルが大きすぎませんか？  
→送信機をAV機器のヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を小さくしてください。

●雑音が多い

赤外線が届く距離で使用していますか？  
また、ヘッドホンと送信機の間に障害物がありますか？  
→送信機の位置や向き、使用する距離を変えてください。  
→ヘッドホンの赤外線受光部を手や髪などで覆わないでください。

音声信号の入力レベルが小さすぎませんか？  
→送信機をAV機器のヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量をできるだけ大きくしてください。